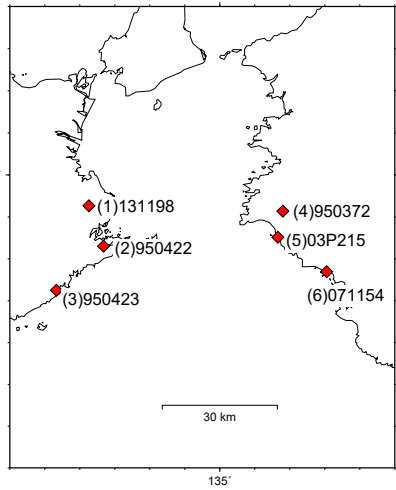
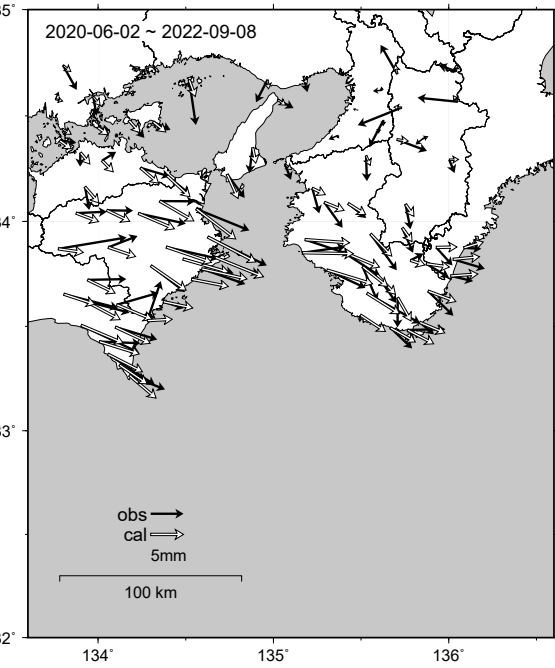
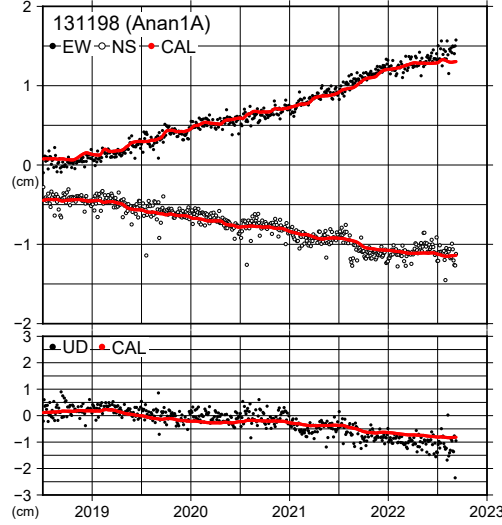


紀伊半島西部・四国東部の観測点の非定常地殻変動時系列と計算値

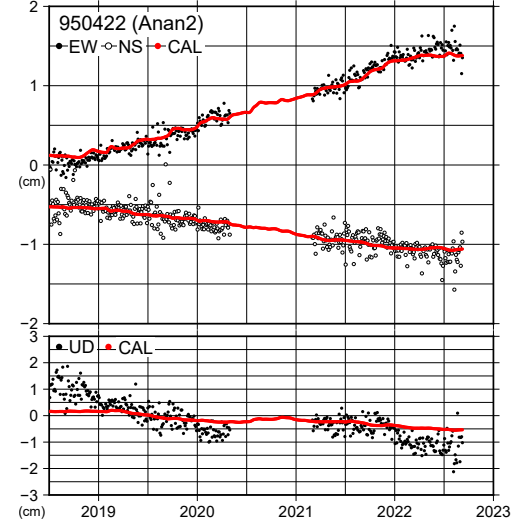
観測値（黒）と計算値（白）の比較



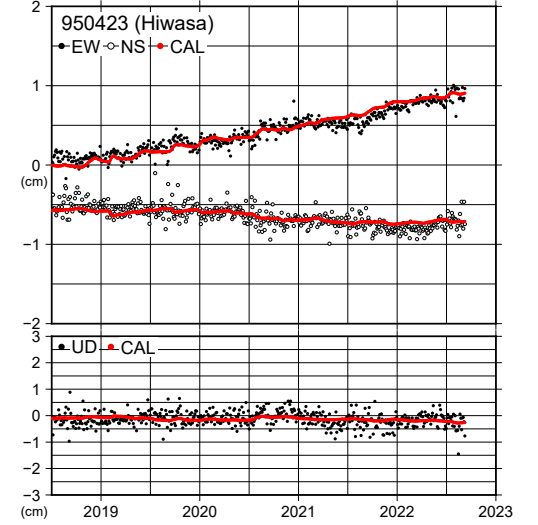
(1) 阿南 1 A



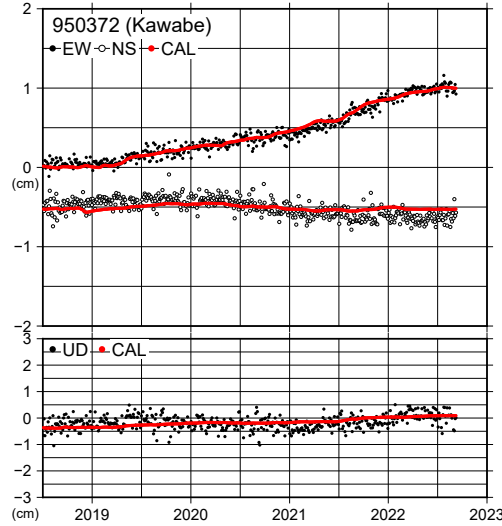
(2) 阿南 2



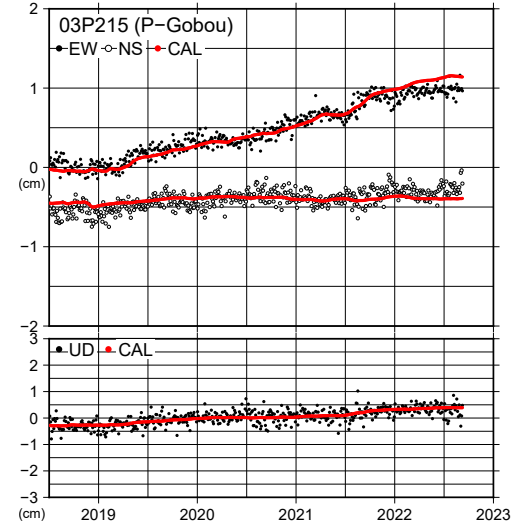
(3) 日和佐



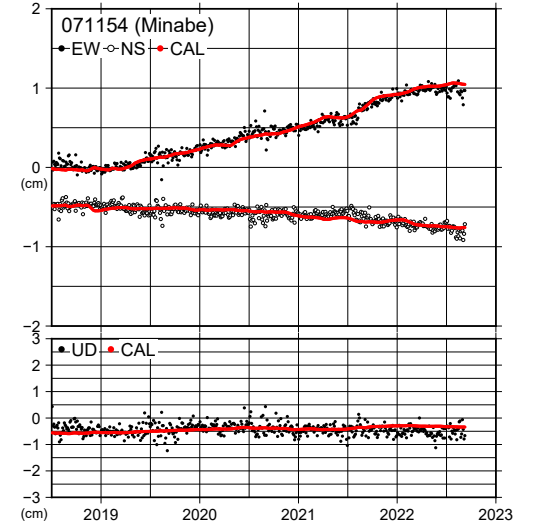
(4) 川辺



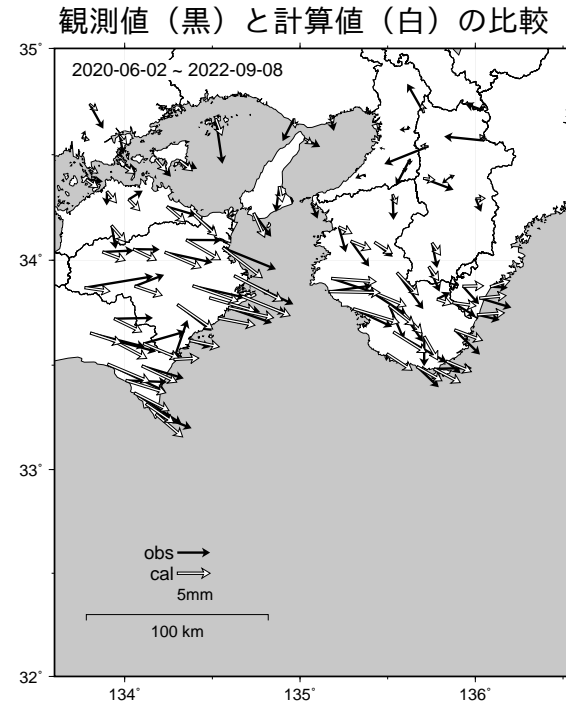
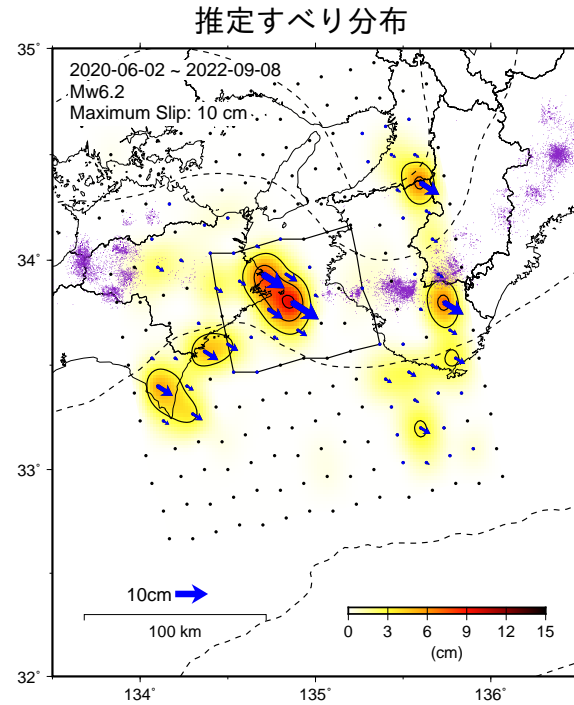
(5) P御坊



(6) みなべ



# GNSS データから推定された紀伊水道の長期的ゆっくりすべり (暫定)

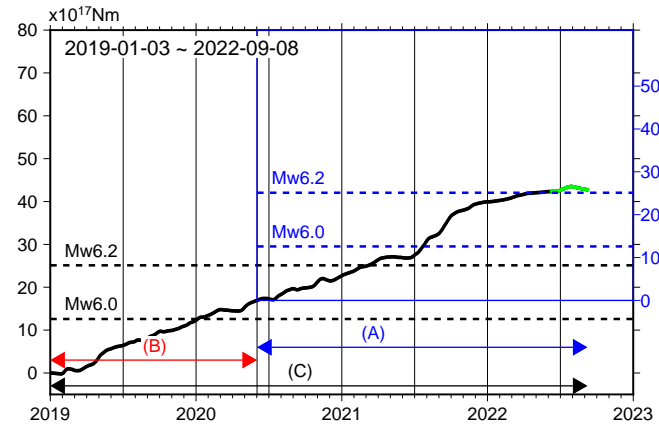


Mw 及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。  
すべり量 (カラー) 及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。  
推定したすべり量が標準偏差 ( $\sigma$ ) の3倍以上のグリッドを青色表示している。

紫丸: 低周波地震 (気象庁一元化震源) (期間: 2020-06-02~2022-09-08)  
黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線 (Hirose et al., 2008)

使用したデータ: GEONET による日々の座標値 (F5, R5 解)  
※電子基準点の保守等による変動は補正済み  
トレンド期間: 2017-01-01~2018-01-01  
(年周・半年周成分は 2017-01-01~最新のデータで補正)  
モーメント計算範囲: 左図の黒枠内側  
観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値  
すべり方向: プレートの沈み込み方向と平行な方向に拘束  
固定局: 網野  
※共通誤差成分を推定

## モーメント ※ 時系列 (試算)



※モーメント  
断層運動のエネルギーの目安となる量。  
地震の場合の Mw (モーメントマグニチュード) に換算できる。